

不妊治療の流れ

- 各種検査費用 -

- 女性側の検査 -

日程	検査項目	保険診療	自費診療(税込)
月経から 1日～ 7日目	スクリーニング検査 超音波検査、子宮頸部細胞診、淋菌・クラミジア検査、尿検査、 月経時採血検査(ホルモン・血算など)を行います。	9,500円～	-
健康管理 センターでも 対応可能	採血検査 HBV・HCV・HIV・梅毒 風疹抗体価(HI) 麻疹・風疹ワクチン 麻疹・風疹ワクチンワクチン接種後は 2ヶ月間の避妊が必要です。		12,650円～ 2,000円～ 11,000円～
7日～ 12日目	子宮卵管造影検査(HSG)	4,500円～	-
14日目	性交後試験(Huhner test)	280円～	-
21日目	黄体期中期採血 プロゲステロン値を測定いたします	1,100円～	-

※別途診察料が掛かります。

- 男性側の検査 -

検査項目	保険診療	自費診療(税込)
精液検査(2回)	450円～	-
健康管理 センターでの 検査・接種が オススメ	採血検査 HBV・HCV・HIV・梅毒 風疹抗体価(HI) 麻疹・風疹ワクチン	12,650円～ 2,000円～ 11,000円～
	尿検査 淋菌・クラミジア検査	4,520円

※別途診察料が掛かります。治療内容や副作用については、医師と相談のうえ進めてください。

不妊治療助成制度につきましてはお住まいの市町村でご確認ください

※市町村の助成制度申請時に治療計画書、領収書など、書類の提出が必要となる場合があります。

**採血検査及びワクチン接種は
健康管理センターでも対応可能です。**

【お問い合わせ】総合犬山中央病院 健康管理センター
0568-62-8246(専用) 0568-62-8111(代表)

【予約時間】平日 13:30～16:30 土 9:30～12:30



社会医療法人 志聖会

総合犬山中央病院

-治療ステップ-

検査項目	保険診療	自費診療(税込)
治療計画書の記入(戸籍謄本・夫婦の直筆サインが必要)	-	-
タイミング指導(4~6回) 基礎体温・超音波検査を用いて排卵日を特定し、性交渉のタイミングを指導いたします。月経後に婦人科外来を受診してください。	-	2,200円~
排卵誘発剤内服後のタイミング指導(4~6回) 卵胞の発育が不十分な場合、排卵誘発剤などを使用することがあります。副作用や注意事項については、相談の上進めさせていただきます。16mm以上の卵胞が4個以上発育したら治療周期をキャンセルします。超音波検査は月3回までで保険算定となります。月経後に婦人科外来を受診してください。	1,590円~	2,200円~
子宮内人工授精(AIH)(4~6回)	7,500円~	-
hCG注射 卵胞が十分に成熟した際に排卵を促す注射を行います。	900円~	-
生殖補助医療(体外受精・胚移植など) 専門施設にて実施いたします(ご紹介させていただきます)。	-	-

※治療はタイミング指導から開始し、必要に応じて人工授精や体外受精へ進みます。
治療内容や副作用については、医師と相談のうえ進めてください。

不妊治療は身体的、経済的に負担の少ないタイミング指導から開始し、
子宮内人工授精、生殖補助医療の順でのステップアップが原則となります。

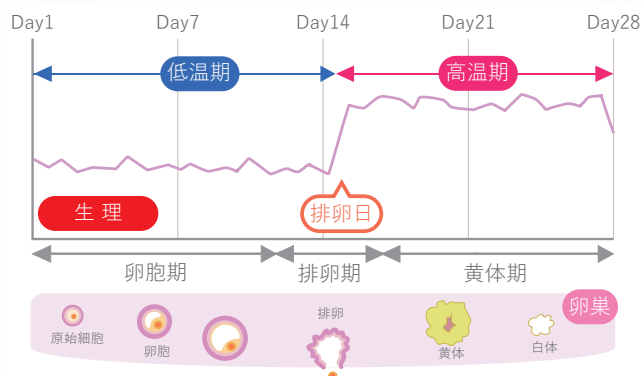
不妊治療助成制度につきましてはお住まいの市町村でご確認ください。

※市町村の助成制度申請時に治療計画書、領収書など、書類の提出が必要となる場合があります。

スケジュールの 大まかな流れ(例)

- 生理開始1~5日目:婦人科外来受診
- 生理開始5~12日目:卵胞モニタリング(複数回)
- 卵胞成熟時:タイミング指導・人工授精・
hCG注射(筋肉注射)
- 排卵後:黄体ホルモン補充
- 排卵から約2週間後:月経が遅れるようであれば
自宅にて妊娠検査

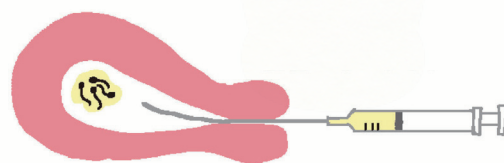
基礎体温表



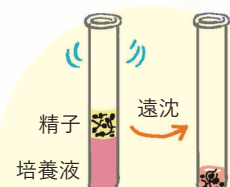
人工授精

【人工授精の適応】

- 精液異常
- 射精障害・性交障害
- 精子一頸管粘液性不適合
- 機能性不妊



少なくとも片方の卵管が開通している必要があります
排卵頃に超音波検査を行い排卵日に合わせて精子を
チューブで子宮に注入します



通常、精液は2ml以上
子宮腔内に0.2ml程度
洗浄・濃縮が完了した精子を注入

一般治療で妊娠できない原因が見つかった場合や、原因はなくても
一般治療で妊娠しない場合が継続する場合生殖補助医療へのステップアップをおすすめします